

# 会 報

No. 24

1986年 5 月

日 本 分 子 生 物 学 会

(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

## 目 次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ◆ 第9回 日本分子生物学会年会のお知らせ .....        | 1  |
| ◆ 学会費納入についてのお願い .....              | 3  |
| ◆ 日本分子生物学会入会申込みの手順 .....           | 3  |
| ◆ 昭和60年度(第26回)東レ科学技術賞 .....        | 9  |
| ◆ 昭和60年度(第26回)東レ科学技術研究助成 .....     | 9  |
| ◆ 山田科学振興財団より .....                 | 10 |
| ◆ 井上科学振興財団より .....                 | 10 |
| ◆ 昭和60年度ナポリ臨海実験所派遣研究者の募集について ..... | 11 |
| ◆ 虫 の 会 .....                      | 11 |

## ◆第9回日本分子生物学会年会のお知らせ

第9回年会を、日本遺伝学会大会と共催で、1986年12月4日(木)～7日(日)の4日間、名古屋観光ホテル(名古屋地下鉄伏見下車)で行います。スケジュールについては、後日(10月下旬予定)お送りするプログラムでお知らせします。

特別講演は、Thomas R. Cech 教授(University of Colorado, Boulder)と Thomas H. Jukes (University of California, Berkeley), 12月4日(木)午後の予定。また一般向けの公開講演を12月4日(木)の夜に予定しております。講師は、高木康敬教授(藤田学園保健衛生大)と常協恒一郎教授(京大・農)。特別講演、公開講演共に、会場は愛知文化会館講堂(名古屋 地下鉄栄下車)。

準備委員会とプログラム委員会は現在編成中です。なお、年会の委員長には名大・理の大沢省三があたります。

### 講演の申込み

1. 一般講演の演者は、本年度会費既納の本学会会員または日本遺伝学会会員に限り、1人1題とします。尚、他の講演の連名者となることは差しつかえありません。会費納入あるいは入会の手続きについては、本会報“昭和61年度会費納入についてのお願ひ”を御覧下さい。尚、本年度は日本遺伝学会との合同年会ですから、両学会の会員の方は遺伝学雑誌とじこみの用紙を用いて講演申込みをしていただいてもかまいません。但し、両学会の会員であっても申込み演題は1題で、重複して申込みことはできません。
2. 一般講演の申込みは、同封の用紙に必要事項を記入し、書留便で年会係までお送り下さい。尚、プログラム編集について、ご希望があれば、“プログラム編集用カード”上欄外にお書き下さい。但し、ご希望にそえないこともあります。

締め切り日 1986年8月20日(水) (必着)

〒113 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル内

(財)日本学会事務センター内

第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会係

電話 (03)817-5831

3. 一般講演以外に、4～5件のシンポジウムの時間(1件 半日)を用意します。なるべく遺伝学会関係との共通テーマが望ましく、御希望の方は、計画の内容(シンポジウム題名、代表者、予定話題提供者など)を添えて下記へお申し込み下さい。採否はプログラム委員会におまかせ下さい。

〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学部生物学教室 分子遺伝学研究室内

第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会

準備委員長 大沢省三 電話(052)781-5111 内線2504

締め切り日 1986年7月7日(月)(必着)

採用の場合は8月中に連絡します。

4. 演者の本年度会費納入を確認するために、申込書の所定の欄に、会費払込の際、郵便局が発行する領収書のコピーを貼付してください。

領収書を紛失された方は同欄にその旨記入下さい。

会費未納の場合は、申込みを受理いたしませんので御注意下さい。

5. 演題受領書は、申込用紙到着後、演者の本年度会費納入を確認の上、返送致します。発表の日時についての通知は、会員の方に発送されるプログラムをもって代えさせていただきます。演題は申込みの形式及び内容に関して不備、あるいは不適当と考えられる場合、不採用のこともありますので御承知下さい。
6. 一般講演の時間は、15分(講演12分、討論3分)の予定です。スライドは、35m/m判10枚以内とします。会場は7会場の予定です。尚、応募演題数によっては、講演時間を変更することがありますので御了承下さい。

#### 参加申込み及び参加費

1. 年会参加費は、5,000円(但し、学生4,000円)です。これには講演要旨集の代金が含まれています。なお、要旨集のみ希望の方には、会員1,500円(但し、会員1人につき一部のみ)、非会員3,000円でお送りいたします。
2. 本年度は懇親会を、12月5日(金)夕刻、名古屋観光ホテルにおいて予定しております。懇親会費は5,000円です。奮ってご参加下さい。
3. 年会参加費、要旨集代金、懇親会費の払込みには、同封の振替用紙を御利用下さい。同封の用紙を使用されない場合には、必ず通信欄に、第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会と記入の上、送金のうちわけ、住所・氏名を御記入の上、下記の郵便振替口座へ御送金下さい。

口座番号 東京9-66455

加入者名 (財) 日本学会事務センター

学術講演会係

整理の都合上、申込者1人につき1枚の振替用紙を御使用下さい。

4. 10月20日までに参加費を払い込まれた方には、年会前に講演要旨集を郵送致します。10月21日以降に払い込まれた場合には、年会会場にて要旨集をお渡しすることになりますので注意下さい。
5. 参加費払込みの領収書は、原則としてお送りいたしませんので御了承下さい。念のため、郵便局の領収書を保管しておいて下さい。
6. 当日申し込まれる方は、会場受付で参加費をお払いください。

## 7. 年会に関する問い合わせ先

本年の年会運営は、下記で担当します。この年会についての御意見は下記宛  
お願い致します。

(財) 日本学会事務センター内  
第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会係

### ◆学会費納入についてのお願い

1. 昭和61年度分および未納分の学会費を4月上旬にお送りした請求書(郵便振替用紙)により納入して下さい。なお、学生会費を納入される方は、細則第2条により、在学証明書を日本学会事務センターに提出して下さい。

記

正会員学会費 2,500円

(但し、在学証明書を提出したときは2,000円)

本学会費の納入に際しては年会参加費と混同しない様お願いします。

2. 年会講演申込みには、学会費納入控(または領収書)のコピーを添付することが必要です。講演を希望される方は、学会費納入控(または領収書)を保管しておいて下さい。

### ◆日本分子生物学会入会申込みの手順

日本分子生物学会に入会を希望なさる方は、書面又は電話によりお申し込み下さい。所定の書式をお送り致します。

〒113 東京都文京区弥生2-4-16

(財)日本学会事務センター

日本分子生物学会係

電話 (03) 817-5801

分 類 (分子生物学会用)

| 対象別項目           | 内容別項目            |
|-----------------|------------------|
| 1. 真核生物・細胞      | A 遺伝子の構造         |
| 2. 原核生物・細胞      | B 遺伝子の複製         |
| 3. 腫瘍ウイルス       | C 遺伝情報の転写        |
| 4. DNAウイルス・ファージ | D 遺伝情報の翻訳        |
| 5. RNAウイルス・ファージ | E プロセッシング・修飾     |
| 6. プラスミド        | F 核酸化学           |
| 7. トランスポゾン・IS   | G 変異・障害と修復       |
| 8. 染色体・クロマチン    | H 組換え機構          |
| 9. mRNA・hnRNA   | I 形質転換           |
| 10. tRNA        | J 遺伝解析           |
| 11. 低分子RNA      | K 高次構造           |
| 12. リボソーム       | L 分子集合・形態形成      |
| 13. 構造蛋白質       | M 細胞周期・分裂        |
| 14. 制御蛋白質       | N 発生・分化          |
| 15. 酵 素         | O 運 動            |
| 16. 細胞膜         | P 神 経            |
| 17. 受容体・生理活性物質  | Q 免 疫            |
| 18. オルガネラ       | R 老 化            |
| 19. インターフェロン    | S 進 化            |
| 20. ホルモン・生長因子   | T 癌化とトランスホーメーション |
| 21. その他         | U 遺伝子工学          |
|                 | V 細胞工学           |
|                 | W その他            |

記入上の注意

1. この用紙は、切り離さずに、郵送して下さい。
2. 受付番号、演題番号等※印の項には記入不要です。
3. 要旨はオフセット印刷にしますので、まず目いっぱい黒インクで書いて下さい。「演題」「氏名所属」という青字の上に重ねて書き始めて下さい。演者の前には、○印を付して下さい。所属は略称を用いて下さい（略称は前年度プログラム参照）。
4. プログラム編集用カードにしたがって、プログラムを編集印刷します。「演題」「氏名所属」を要旨と全く同じに記入して下さい。なお、同一研究グループで複数の関連演題を発表する場合、なるべく少数にまとめるよう御努力下さい。特に希望があれば希望発表順序を別紙に書き、同封して下さい。
5. 人名索引編集用カードには、演者及び連名の方を、1枠に1人ずつ、すべて記入して下さい。
6. 講演申込書には、「演題」「氏名所属」と共に、連絡者1名の氏名・住所・電話番号を記入して下さい。
7. 発表内容について、対象別分類から1項目、内容別分類から第1希望、第2希望の2項目を選び、番号およびアルファベットで記入して下さい。「その他」の場合、希望項目を記入して下さい。プログラム編成とセッション設定の参考資料と致します。分類と項目番号は別紙に掲載してあります。
8. 演者の本年度会費払込領収書（郵便局発行のもの）のコピーを所定の欄に貼付して下さい。領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。
9. 受領書には、「演題」と共に、裏面に宛名を記入し、40円切手を貼って下さい。

第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会係

財団法人日本学会事務センター内  
〒113 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル内

40円切手を  
はって下さい。

殿

郵便はがき

|   |
|---|
| □ |
| □ |
| □ |
| - |
| □ |
| □ |

第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会一般講演申込書

|      |              |    |                  |    |
|------|--------------|----|------------------|----|
| 講演申込 | 演題番号※ _____  |    | 受付番号※ _____      |    |
|      | 対象別分類 _____  |    | 内容別分類の第1希望 _____ |    |
|      |              |    | 同第2希望 _____      |    |
|      | 演 題 _____    |    |                  |    |
|      | 氏名(所属) _____ |    |                  |    |
| 連絡者  | _____        |    |                  |    |
| 住 所  | _____        |    |                  |    |
| 電話番号 | 市外局番         | 局番 | 番号               | 内線 |

備 考 講演者の前に○印を付して下さい。プログラム原稿となりますので連名の方すべて記入して下さい。講演申込欄の所属は略号を用いて下さい。

ここに、演者の本年度会費の払込の領収書のコピーを貼付して下さい。

受 取 書

受付番号※ \_\_\_\_\_

受付年月日※ 1986 年 月 日

演 題 \_\_\_\_\_

上記演題は発表要旨とともに受取りました。

発表の日時は後日お送りするプログラムによって御承知下さい。

東京都文京区本郷 2-40-14 山崎ビル内  
財団法人日本学会事務センター内  
第58回日本遺伝学会・第9回日本分子生物学会合同年会係

記入に際して申込書裏面の注意をお読み下さい。

プログラム編集用カード

演題番号※

受付番号※

対象別分類

内容別分類の第1希望

同第2希望

演 題

氏名所属

人名索引編集用カード

受付番号※

|   | 氏 名 |         | 演 題 番 号※ |
|---|-----|---------|----------|
|   | 漢 字 | ひ ら が な |          |
| 1 |     |         |          |
| 2 |     |         |          |
| 3 |     |         |          |
| 4 |     |         |          |
| 5 |     |         |          |
| 6 |     |         |          |
| 7 |     |         |          |
| 8 |     |         |          |
| 9 |     |         |          |



◆昭和60年度（第26回）東レ科学技術賞

正賞金メダルおよび副賞各 300 万円

| 研 究 題 目                | 受 賞 者   |
|------------------------|---|
| 溶接構造用鋼板の脆性破壊に関する研究     | 東京大学名誉教授 <small>かな</small> 金 <small>ざわ</small> 澤 <small>たけし</small> 武 |
| 糖蛋白質糖鎖の微量構造決定法の開発とその応用 | 東京大学教授 <small>こ</small> 木 <small>はた</small> 幡 <small>あきら</small> 陽    |

◆昭和60年度（第26回）東レ科学技術研究助成（12件）

研究助成金総額 100,000,000 円  
(五十百圓)

| 研 究 題 目                              | 代 表 研 究 者  | 助 成 金 額 (円) |
|--------------------------------------|--|-------------|
| 高周波熱プラズマを用いたセラミックスの超高速CVDに関する研究      | 東京大学 <small>あか</small> 明 <small>し</small> 石 <small>かず</small> 和 <small>お</small> 夫 教授                    | 8,000,000   |
| 遺伝情報転写調節機構の研究                        | 国立遺伝学研究所 <small>いし</small> 石 <small>はま</small> 濱 <small>あきら</small> 明 教授                                 | 5,000,000   |
| 磁性バリアを持つトンネル接合・準粒子ミキサの製作             | 東北大学 <small>いま</small> 今 <small>い</small> 井 <small>しゅう</small> 捷 <small>ぞう</small> 三 助 教 授               | 9,800,000   |
| 生理活性に着目した有機フッ素化合物の合成化学的研究            | 東京薬科大学 <small>こ</small> 小 <small>はやし</small> 林 <small>よし</small> 義 <small>ろう</small> 郎 教 授               | 8,000,000   |
| マイクロプローブ・オージェ電子回折法による半導体初期界面構造の解明    | 東北大学 <small>こう</small> 河 <small>の</small> 野 <small>しゅう</small> 省 <small>ぞう</small> 三 助 教 授               | 13,000,000  |
| 細胞分裂装置、細胞骨格および核骨格を結ぶ分子群の細胞増殖制御における役割 | 愛知県がんセンター研究所 <small>ま</small> 佐 <small>とう</small> 藤 <small>ちか</small> 周 <small>こ</small> 子 放射線部部长        | 8,000,000   |
| 白亜紀末の生物群の集団絶滅をもたらした環境要因の解析           | 山形大学 <small>さい</small> 斎 <small>とう</small> 藤 <small>つね</small> 常 <small>まさ</small> 正 教 授                 | 3,000,000   |
| 電界イオン顕微鏡・アトム=プローブによる高分子の微視的研究        | 東京大学 <small>にし</small> 西 <small>とし</small> 敏 <small>お</small> 夫 助 教 授                                    | 13,000,000  |
| シロウジ・ウバエ集団における中立的進化と適応進化の統合に関する研究    | 九州大学 <small>ひか</small> 向 <small>い</small> 井 <small>てる</small> 輝 <small>み</small> 美 教 授                   | 6,500,000   |
| 細胞応答における熱ショック・タンパク質および細胞骨格タンパク質の役割   | (財)東京都臨床医学総合研究所 <small>や</small> 矢 <small>はら</small> 原 <small>いち</small> 一 <small>ろう</small> 郎 細胞生物学研究部長 | 12,000,000  |
| 熱帯域の大規模な大気海洋相互作用(ENSO)とその気候変動に及ぼす影響  | 九州大学 <small>やま</small> 山 <small>がた</small> 形 <small>とし</small> 俊 <small>お</small> 男 助 教 授                | 5,700,000   |
| 有機金属錯体を用いる新合成反応の開発とその応用              | 東京工業大学 <small>やま</small> 山 <small>もと</small> 本 <small>あき</small> 明 <small>お</small> 夫 教 授                | 8,000,000   |

◆山田科学振興財団より

昭和61年4月

申込要領等改訂のお知らせ

財団法人 山田科学振興財団

理事長 永宮健夫

この度、次記のように、来日、派遣の援助申込要領を改訂いたしましたので、よろしくご査収の程お願い申し上げます。

記

来日援助申込要領 1部  
派遣援助申込要領 1部

| 援助名                     | 募集開始  | 締切日       |
|-------------------------|---|-----------|
| 来日<br>(62年4月～63年3月分)    | 61年4月1日   | 61年11月30日 |
| 長期間派遣<br>(62年4月～63年3月分) | 61年4月1日   | 61年11月30日 |
| 短期間派遣                   | 出発月の4カ月前の15日が締切日<br>(例：61年10月出発の場合61年6月15日が締切日) |           |

研究援助候補推薦要領及び推薦書用紙は61年9月頃お届けします。

募集開始 61年9月 締切日 62年3月31日

62年4月以降、学術交流集会援助は中止します。

◆昭和61年度(第3回)井上学術賞候補者推薦要項

財団法人 井上科学振興財団

- 候補者の対象 自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者。  
ただし、年齢が昭和61年9月20日現在で満50歳未満の研究者に限ります。
- 学術賞 本賞：賞状及びメダル 副賞：200万円  
授賞件数は5件以内とします。

(注) 受賞者は、原則として1件について一人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示して下さい。ただし、この場合についても1件として取り扱います。

3. 推薦件数 各推薦者から1件とします。
4. 推薦依頼先 下記の23学会並びに当財団の役員・評議員に推薦を依頼します。
5. 提出方法 所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、当財団あてに提出願います。
6. 締切期日 昭和61年9月20日(土)
7. 選考方法 当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。
8. 学術賞の贈呈 昭和62年2月4日(水)の予定  
(選考の結果は、昭和61年12月中旬に推薦者へお知らせします)。
9. 推薦書提出先 財団法人 井上科学振興財団  
及び連絡先 〒150 東京都渋谷区猿樂町11番20号 電話 東京03-477-2738

#### ◆昭和62年度ナポリ臨海実験所派遣研究者の募集について

日本学術振興会 理事 瀧澤博三

本会は、国際学術交流事業の一環として昭和40年度以来イタリアのナポリ臨海実験所への研究者派遣事業を実施しております。従来派遣研究者の募集については、一部の関係学会を通じて行っておりましたが、昭和60年度からは海洋生物学に関係のある学会を通じて広く希望者を募ることにしております。

ついては、別添要項により昭和62年度ナポリ臨海実験所派遣研究者を募集いたしますので、貴学会の機関誌等を通じて関係研究者への周知をお図りいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

#### ◆虫の会

恒例の「虫の会」を開きます。今年は大会委員長が御承知の虫キチ中の虫キチであり、名古屋は虫のメッカです。ふるって御参加下さい。

会場の関係で、予め出席人数を知りたいので、10月末日までに出席希望者は世話人あてに御連絡下さい。

記

12月6日(土) 18:30～

愛知厚生年金会館(地下鉄池下駅下車すぐ。総会会場から約15分)

会場費、夕食代を徴収します。

今年の虫の会世話人

石崎宏矩 〒464 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学理学部生物学教室  
052-781-5111 (ext. 2509)